

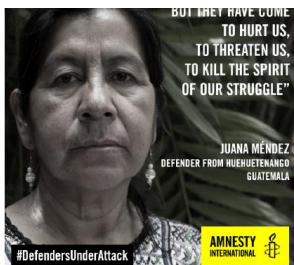
マレーシア、アンワル元副首相を釈放



不当に逮捕されていたアンワル・イブラヒム元副首相が5月16日、釈放されました。

1998年9月、政治改革を訴えていたアンワルさんは副首相を罷免され、その後、汚職と同性愛の容疑で起訴されました。有罪となり、2004年まで収監され、2014年には再び同性愛容疑で有罪判決を受け、4年間収監された後、今回の釈放となりました。

アムネスティは20年にわたり、アンワルさんの釈放に向けた支援活動をしてきました。2014年の釈放直後、アンワルさんはアムネスティに次のように伝えて



ていました。「獄中では、妻からアムネスティが緊急行動で私を支援していることを聞かされた。面会に物品の持ち込みが禁止されていたため、家族一人ひとりが暗記した支部ご

との緊急行動の文面を語ってくれた。これは大きな励みになった。これからも取り組みを続けてほしい」ということでした。

グアテマラ:人権活動家に対する犯罪取締り

「人権擁護活動家に対する犯罪の捜査要綱案」が検事総長により承認され、正式に施行されることになりました。

あらぬ脅しや暴力を受けても泣き寝入りが多い人権活動家にとって、これは朗報です。アムネスティが支援してきた、先住民族、カンホバルの土地の権利を擁護する人たちにとっても同様です。

今後は、新捜査要綱をいかに法執行機関に周知徹底させるかです。当局は、その全面的執行に向けて、十

分な予算と要員を確保した上で、全職員への研修・教育を徹底し、あるべき捜査への意識を高めていかなければなりません。

捜査要綱の制定に初期段階から関わってきた NGO 「グアテマラ人権団体」と司法国際法センターは、「アムネスティが、キャンペーンや啓蒙活動で支援してくれなければ、捜査要綱は実現しなかった」と確信していました。

とはいえ、捜査要綱の徹底には、紆余曲折が予想されるため、アムネスティは、同国に対する要望と活動目標をあらためて設定しなおしました。この新たな目標の下で、アムネスティは、今後も現地の NGO の支援を続けていきます。

タイのソムヨットさんが自由の身に！



労働運動家で「タクシンの声」の編集者、ソムヨット・プルエクサカセムスックさんが4月30日、釈放されました！彼は11年4月、タイ刑法の不敬

罪の見直しを求めて書いた記事が、「国王や女王らへの中傷」に当たるとして不敬罪に問われ、2013年に有罪となり、逮捕以来7年も収監されていました。

2006年以来、当局は平和的反対運動に対して、刑法の不敬罪が適用されることが増えていました。同法は、表現の自由の権利を不当に制限し、明らかに国際人権法に背くものです。タイは、市民的および政治的権利に関する国際規約の締約国であり、表現の自由を保障する法的義務があります。

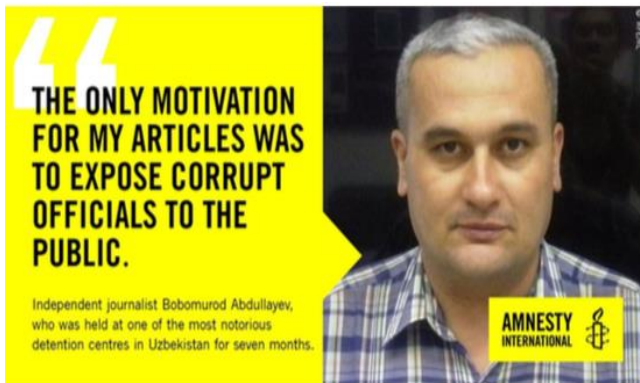
アムネスティは、法律を論じただけで投獄されたソムヨットさんを「良心の囚人」として、国に釈放を求めてきました。活動に参加していただいた皆さんに感謝します！ありがとうございました。

ウズベキスタン：フリーの記者を釈放

ウズベキスタンの首都タシケントの市裁判所は5月7日、フリージャーナリストのボボムロッド・アブドゥッライエフさんに対して、憲法秩序を乱そうとした罪で拘束が伴わない社会奉仕を命じる判決を下しました。社会奉仕は、18カ月の地域ボランティアと収入の20%の国庫への納付というものです。

アブドゥッライエフさんが容疑を問われたのは、昨年9月に扇動的と見なされる記事を書いたときでした。記事で国を批判したことは認めましたが、暴動を呼びかけるものではまったくなかったといいます。

裁判所の入り口から徒歩で現れたアブドゥッライ



© Amnesty International

エフさんは、出迎えた家族や友人、支持者らとおおよそ8カ月ぶりに再会しました。

5月24日、アムネスティに次のように語りました。「拘束されている間、同僚や人権活動家、NGOなどの支援を受け、法廷では、米、英、EU各国の大使館関係者らの姿を目にした。いずれもとても心強かった。こうして自由の身になれたのは、皆さんのおかげだ。表現の自由や人権を守る上で、連帯と働きかけがいかに重要か、あらためて感じた。皆さんの力強い活動と勇気を心から讃えます」。

クロヴィスさん、ドイツ・アフリカ賞受賞

マダガスカル環境活動家、クロヴィス・ラザフィマラさんは、同国での環境活動を認められ、今年度の

ドイツ・アフリカ賞の受賞者に選ばれました。

ドイツ・アフリカ財団が毎年、アフリカの平和や民主、社会に貢献した人物を賞しており、今年のテーマは、自然保護でした。報道記事によると、財団は受賞者を発表した際、クロヴィスさんを支援した団体の一つにアムネスティの名前を挙げました。

ラザフィマラさんは、マダガスカルでは知られた環境活動家で、紫檀などの木材の保護に尽力し、違法な伐採や密輸の横行を強く非難してきました。昨年、公共財産の破壊などというねつ造された容疑で逮捕され、9カ月以上も拘束されていました。

韓国のリー・ジンヤンさんに無罪判決！

電子図書館「労働者の本」を運営するリー・ジンヤンさんが、国家安全法違反に問われた裁判の控訴審が4月11日ソウル高等裁判所であり、一審の無罪判決が支持されました。

リー・ジンヤンさんは昨年1月、反政府組織に利する情報を流布させたとして逮捕・勾留され、起訴されましたが、同年7月、ソウル南部地裁で無罪判決を言い渡され、釈放されました。検察側が控訴しましたが、今回、二審のソウル高裁でも無罪が支持されました。検察側が上告する可能性はありますが、無罪判決が覆される可能性は少ないと言われています。

リー・ジンヤンさんの釈放を要請する緊急行動にご参加いただき、ありがとうございました。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本